

コース名	AI時代のビジネスモデルを探る(虎ノ門)			
研修のねらい	<p>製造業のものづくりの考え方が大きな変革を迫られています。中長期的には人口減少の影響がより顕在化することに伴う需要・供給両面における構造的な成長制約があり、抜本的な少子化対策等に加え、IoT、ビッグデータ、人工知能等による効率性の飛躍的向上や、革新的な新たなサービス・製品による市場拡大を実現しなければなりません。そうした中、AI(人工知能)は「日本再興戦略」においてロボット・AI化による生産性向上や医療技術への貢献が期待されていますが、今後はIoT(モノのインターネット)、ビッグデータの進展拡大から、さらにもう一步進んだAI化によって、従来のものづくりとは異なった考え方・仕組みが必要とされます。</p> <p>本研修は今後拡大するAI活用が中小企業にとってどのような影響を与えるか、変化の流れに対応するためにはどのようなものづくりを志向していかなければならないかを講義・演習を通して学びます。</p>			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIによる環境変化と動向についてご紹介します。</li> <li>・AIが中小企業にとってどんな利用可能性があるかについて事例を交えてご紹介します。</li> <li>・AIに対応するビジネス展開のための課題を整理できます。</li> <li>・自社のビジネスでAIをどのように活用できるかを具体的に検討することができます。</li> </ul> <p>◆関連コースのご案内                  No.10「売れ続ける関係を創る！企業の魅力の伝え方(虎ノ門)」 2019年1月30日(水)～31日(木)〈2日間〉                  No.13「社内を活性化するIT活用(虎ノ門)」 2019年2月27日(水)～28日(木)〈2日間〉</p>			
研修期間	2018年8月29日(水)～8月30日(木)〈2日間〉			
受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者・経営幹部・後継者・管理者</li> <li>・AIについて具体的な活用事例も含め詳しく知りたい方</li> <li>・自社におけるAI活用を検討したい方</li> </ul>	定員	30名	受講料 22,000円

月日	時間	科目	内容	講師
8月29日(水)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		当校職員
	9時40分～12時10分	AI活用の現状	AIの特徴と歴史、これらの拡大による社会全体の変化とその影響について、全体概要を学びます。	坂田 淳一
	13時10分～16時40分	AIを活かしたビジネス展開の方向性を考える	AIが、中小企業にとってどんな影響を及ぼすかについて、製造業・物流業・卸小売業・サービス業のバリューチェーンに沿って学びます。さらに、AIに対応したビジネス展開をするためには、どんな制約条件をクリアしないといけないのか、また、どんな点に注意すべきかについて、さまざまなAI活用事例を参考にしながら、ビジネス展開の方向性を学びます。	桜美林大学 教授 東京工業大学 未来産業技術研究所 特別研究員
8月30日(木)	9時30分～10時30分	スマートファクトリー、スマートサプライチェーンの現状と対応の鍵	設備単体によるIoTにとどまらず、工場全体のネットワーク化やAIによる自動化が進むスマートファクトリー、スマートサプライチェーンについて現状と課題、今後の展望について学びます。	坂田 淳一(前掲)
	10時30分～12時30分	先進企業事例紹介(製造現場事例)	実際に、AIを活用されている企業の事例をご紹介します。適用のプロセスやどのような効果が生じるのかを紹介します。その後、AI活用についての質疑応答、ディスカッションを行い、実践のためのヒントを学びます。	事例企業 選定中 (コーディネーター) 坂田 淳一(前掲)
	13時30分～16時30分	自社のAI化によるビジネス活用の検討(演習)	グループに分かれ、自社においてどのようなAI活用が可能になるか、また、どのようなAI化が改善やビジネスチャンスの拡大につながるのかを議論してもらいます。グループ毎に意見をまとめ、発表し、共有化を行います。	坂田 淳一(前掲)
	16時30分～16時40分	修了証書授与		当校職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
坂田 淳一 (さかた じゅんいち) 桜美林大学 教授  東京工業大学 未来産業技術研究所 特別研究員	中小企業総合事業団(現:中小機構)、アンダーセンコンサルタンツ(株)、東京工業大学 特任准教授を経て現職。専門は、技術経営、情報科学、経営情報論、情報通信工学、知的財産論。早稲田大学理工学術院国際情報通信研究科博士課程修了、博士(情報通信学)。著作: CIO学概論(東京大学出版・共著)、イノベーションを加速するオープンソフトウェア(静岡大学学術出版・共著)等

# 30年度コース別受講申込書

FAX 042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載して、折り返しFAXします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日

フリガナ			代表者役職		
会社名			代表者氏名		
所在地	〒 都 道 府 県				
TEL			FAX		
主要取扱品目			資本金	万円	従業員数 人
業種 <small>該当区分に○印をつけてください</small>	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 ( )	業種分類 <small>製造業の方は該当区分に○印をつけてください</small>	9.食品 10.飲料 11.繊維 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
研修を知ったきっかけ	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 9.区市等の機関紙 10.展示会等 11.その他( )			メールマガジンの送信可否	可 ・ 不可
				人材育成計画作成への関心	ある ・ ない
連絡担当者	フリガナ		部署		
	氏名		役職	担当者 E-mail	

コースNo.	No. 6	コース名	AI時代のビジネスモデルを探る(虎ノ門)
--------	-------	------	----------------------

受講者情報①	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます 「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。		
	氏名				男		役職					
	受講者 E-mail				該区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補					
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日		退寮日							
入寮する	入寮しない	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日	~	研修終了日	研修終了日の翌日	キャンセル待ち 番です キャンセルが発生次第、ご連絡します。				

受講者情報②	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます 「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。		
	氏名				男		役職					
	受講者 E-mail				該区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補					
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日		退寮日							
入寮する	入寮しない	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日	~	研修終了日	研修終了日の翌日	キャンセル待ち 番です キャンセルが発生次第、ご連絡します。				

- 1) 入寮希望の有無・入寮日は、受講者本人に確認をお願いします。なお、入寮時の部屋割りご希望に添えない場合があります。
- 2) より多くの方が受講できるように、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みといたします(一部コースを除く)。2名様をこえる場合はキャンセル待ちとなります。ご理解くださいますようお願い申し上げます。
- 3) 「経営後継者研修」「経営管理者研修」の申込書は、別様式です。専用パンフレットをご請求ください。

個人情報保護について	個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大学校使用欄
--------